

智頭急行安全報告書

2013年度版

1. 利用者の皆様へ

平素から智頭線をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社は、お客様が安心してご利用いただけるよう、鉄道事業者として最も大切な使命である「輸送の安全確保」に全社一丸となって取り組んでおります。

これからも安全・安心な鉄道であり続けるよう輸送の安全確保に全力を尽くしてまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、当社における輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非積極的なご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。

智頭急行株式会社

代表取締役社長 岡村俊作

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保であり、「安全行動規範」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知、徹底しています。

- ①安全は、輸送業務の最大の使命である。
- ②安全の確保は、輸送の安全に関する法令及びこれに関連する規程類の遵守並びに執務の厳正から始まり、不断の修練によって築き上げられる。
- ③確認の励行と連絡の徹底は、安全の確保に最も大切である。
- ④安全に係る情報は、迅速正確に関係箇所に伝達し、その共有化を図らなければならない。
- ⑤安全の確保のためには、職責をこえて一致協力しなければならない。
- ⑥疑わしいときは、最も安全と思われる取扱いをしなければならない。
- ⑦事故が発生したときは、併発事故の防止とお客様の救護を最優先しなければならない。

(2) 安全目標

第2次鉄道輸送安全目標（2012～2016年度）を次のとおり定め、これに向かって社長以下従業員一緒になって取り組んでいます。

列車事故（衝突・脱線・火災） ゼロ
 鉄道人身障害事故 ゼロ
 踏切障害事故 ゼロ

(3)安全重点施策

ヒヤリ・ハット事象の報告と分析及び対策
 世代交代に備えての知識・技能の向上及び継承の推進
 整理整頓の推進
 規定類の見直しと整備

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

2013年度の主な状況は次のとおりです。

(1)鉄道運転事故

鉄道運転事故はありませんでした。

(2)輸送障害（30分以上の遅延や運休）

部内原因によるものが4件、災害によるものが3件、合計7件発生しました

a. 部内原因

車両の不具合による故障が3件、取扱い誤りが1件、合計4件発生しています。

発生年月日	原因	主な運休・遅延
平成25年 4月24日	エンジン過給機の故障	普通列車部分運休
平成25年12月11日	排気温度コントローラの不具合	普通列車部分運休
平成26年 1月24日	排気温度コントローラの一時的な誤動作	普通列車50分延発
平成26年 2月 3日	表示設定機の設定誤り	特急31分延着

b. 災害原因

4月の淡路島付近で発生した地震、雪の影響で3件発生しています。

発生年月日	原因	主な運休・遅延
平成25年 4月13日	淡路島付近で発生した地震	特急10本 普通10本 運休
平成25年12月28日	雪による倒木	特急81分延発
平成25年12月29日	出入台ガラスひび入（落雪した雪がバラストをはねたためと推定）	特急46分延発

(3)インシデント（事故の兆候）

インシデントは、ありませんでした。

(4)行政指導等

行政指導等はありませんでした。

(5)その他（安全を脅かす事態）

平成25年4月16日、設備の検査中、保守用車を逸走させてしまい、皆さまに多大なご心配をおかけしました。今後、このような事態を二度と起こさないよう、安全を優先する職場風土の再構築に取り組んでまいりました。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1)安全のための投資

項目	内容・場所等	金額（千円）
特急車両エンジン・ 変速機取替	全般検査時エンジン取替（12台） 本年度より変速機取替（12台／68台）	118,770
トンネル修繕	志戸坂トンネル調整路盤コンクリート補修、第2山木 トンネル漏水	97,024
ATS-P地上設備 更新	久崎駅（1／10駅）	40,566
高架橋修繕	小股、毛谷高架橋	27,737
土木構造物修繕	峠橋りょう、平福伏び、第5今岡架道橋、第3円応寺 橋塗装、第2千種川橋りょう、尾見高架橋のり面、大 原高架下、他	25,761
特急列車デジタル無 線化	列車無線をアナログ+デジタル無線に更新（3／13 両）	13,665
特急列車PLC盤更 新	特急中間車両のPC盤取替（6／21台）8台完了	11,403
レール更新	11箇所、166m	8,371
駅の老朽化対策	西栗倉駅、宮本武蔵駅安全柵	4,578
防災監視装置の取 替・検定	雨量計・風速計取替、地震計検定	2,080
落石・安全柵の新 設・修繕	平福ー石井間50m落石防止、恋山形駅安全柵	1,326

(2)安全推進委員会

経営トップから各課長等をメンバーとする会議を毎月開催し、安全施策・安全意識向上等について検討・審議を行っています。

(3)人材教育

輸送の安全を確保するため、毎年教育計画を定めて人材教育を行っています。運転従事員全員を対象とするもののほか、乗務員対象、指令員・駅従事員対象と、業種毎での勉強会を定期的に開催しています。勉強会では、他山の石の活用に加え、自社でのヒヤリ・ハット事例を参考にして事故防止に活かしています。

(4)異常時対応訓練

毎年、万一の故障に備えての駅解放、運転事故等を想定した総合事故復旧訓練、トンネル内における列車火災を想定した避難訓練、JRと相互乗り入れ2駅でのJRと異常時合同訓練を実施しています。

項目	実施日	内容	参加人員等
駅解放訓練	4月～12月 実施45回、7箇所	各駅での信号扱い 各駅の操作盤で操作	・対象参加者 13名
異常時運転取扱訓練	平成25年 8月27日	恋山形構内信号故障 指導通信式：智頭—恋山形	12名
	平成26年 1月30日	佐用駅、平福駅信号故障 指導通信式：佐用—平福	15名
異常時運転取扱訓練	平成25年10月 3日	トンネル内火災訓練 トンネル内火災発生による避難誘導	34名
	平成25年12月 4日	総合事故復旧訓練 負傷者救護、車両載線、マクラギ更換	51名
JRとの合同異常時訓練	平成25年11月28日	JR智頭駅軌道短絡による信号機使用不能 指導通信式：智頭—恋山形	16名 (JR除く)
	平成26年 2月21日	JR上郡駅軌道短絡による信号機使用不能 指導通信式：上郡—岩木 (信)	13名 (JR除く)

駅解放訓練

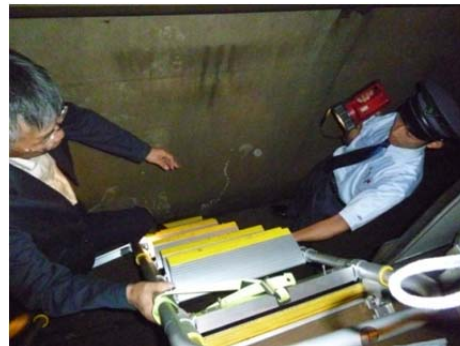


異常時運転取扱訓練

トンネル内火災訓練



車 内



救 護

総合事故復旧訓練



救 護



車両載線



レール補修

J Rとの合同異常時訓練



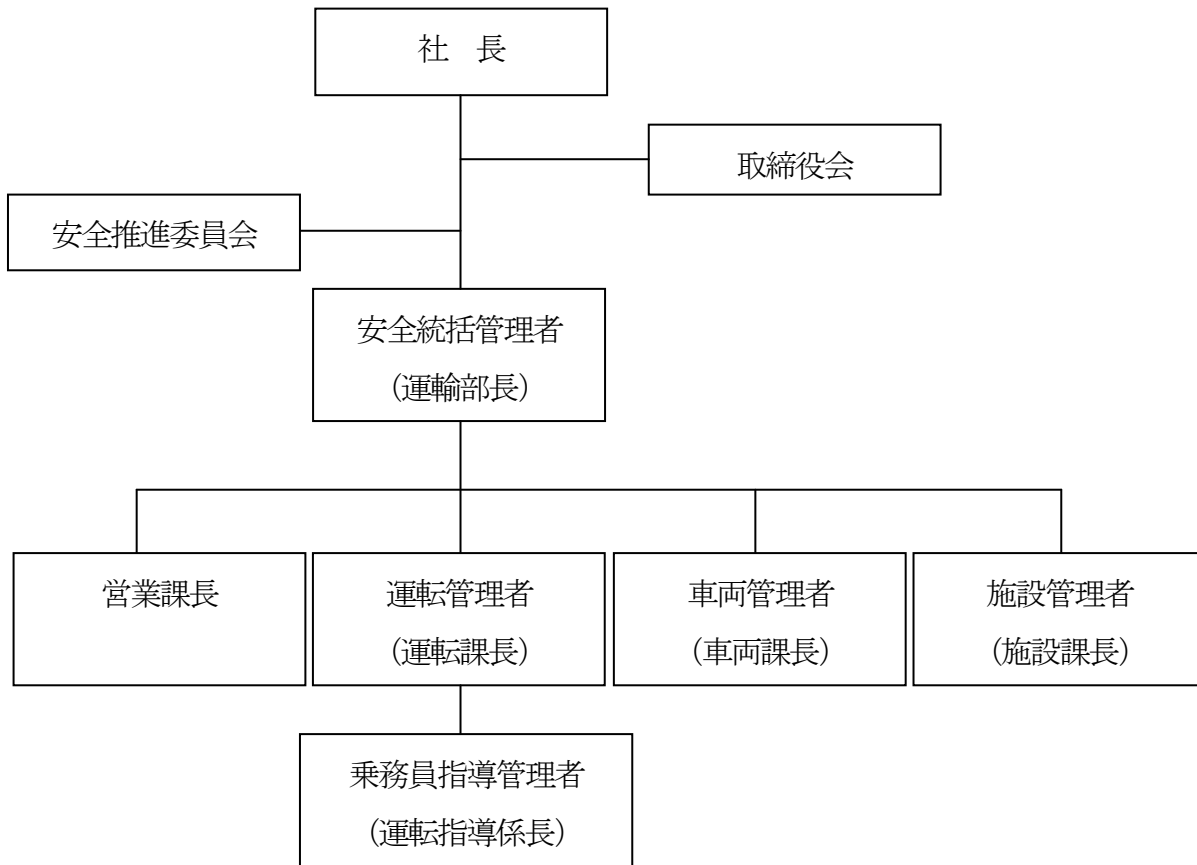
上 郡 駅



智 頭 駅

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構成し、各責任者の責務を明確にしています。



役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 (運輸部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者 (運転課長)	安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故防止に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 (運転指導係長)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者 (施設課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する。
車両管理者 (車両課長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。